

子育て支援については、養育支援訪問事業を開始し、育児環境に課題のある家庭に支援員が訪問を行い、育児指導を行うとともに家庭の諸問題の解決に取り組みました。

また、認可保育所の新設・増改築を行うことで定員増を図り、放課後の子どもの居場所づくりとして学童クラブなどの環境整備に取り組みました。

その成果として南原小学校敷地内に「南原小学校学童クラブ」がオープンします。

さらに、認可外保育所の保育料の助成や、子育て家庭の経済的負担の軽減を図るため、こども医療費助成の対象年齢を小学校就学前まで拡大しました。

### 3つ目の目標である「地元企業育成と誘致、そして地産地消」について

では、地元企業育成として、商工会並びに通り会と連携し商業活性化を図るとともに、創業支援計画に基づき、新規創業を促進してまいりました。

また、企業誘致については、中城湾港新港地区の国際物流拠点産業集積地域を中心に220社以上が立地し、雇用者総数も5,400人を超えております。

さらに、琉球海運が同地区内に、県内最大級の物流センターを整備することとあり、本県の物流の拠点地域として発展することが期待されることから、本市の経済への波及効果は大きいものと考えております。

地産地消については、農水産業戦略拠点施設のオープンに向け、商品開発や生産者の皆さんに対し説明会を実施するとともに、運営開始以降の農水産物の地元消費拡大や給食センターとの連携などに向け、準備を進めております。

また、い草の商品化や地元鮮魚の干物加工によるブランド化など、6次産業による地産外商にも取り組んでおります。

さて、昨年はオリンピックやうちなーんちゅ大会などのイベントが開催されたほか、スポーツや芸能文化の面から本市の将来を担う子ども達の活躍が相次ぎました。

まず、第47回全国ミニバスケットボール大会で全国制覇した宮森小学校女子ミニバスケットボール部と、第2回ジュニア世界空手道選手権において優勝したあげな中学校3年の金城芽唯美さんに青少年特別表彰を贈呈し、これまでの功績を称えました。

第43回マーチングバンド全国大会においては、中学校の部で具志川中学校吹奏楽部が金賞を受賞しました。

高江洲小学校吹奏楽部は、先日開催された第16回マーチングステージ全国大会に沖縄県代表として出場し、最高賞に当たる講評者特別賞を受賞しております。

8月に開催されたリオオリンピック女子バレーには、本市出身の座安琴希選手が出場したほか、最近の話題として、第40回日本アカデミー賞新人俳優賞を具志川高校3年の佐久本宝君が受賞しております。

国際的には、イギリスのEUからの離脱問題や、第45代アメリカ合衆国大統領にドナルド・トランプ氏が就任するなど大きな動きもありました。

国内の情勢に目を向けますと、日銀によるマイナス金利政策の導入、株価の上昇、円安の進行や、国の進める地方創生に関する事業の実施や経済対策等により、景気は緩やかな回復基調で推移しており、県内経済についても力強さを増しています。

また、4月には熊本地震、8月には台風10号による災害が発生し、改めて自然災害に対する備えの重要性を実感しました。

県内においては、米軍属による凶悪な事件が発生し、市民の生命と財産を守る市長として、誠に残念な事件であり、強い憤りを覚えました。

また、名護市でのオスプレイと伊計島におけるヘリコプターの事故が相次ぎ、市議会とともに日米両政府をはじめ関係機関に強く抗議し、この様な事件が二度と発生しないよう関係機関の適切な対応を求めました。



【市議会、伊計自治会と共に要請書を手交】

さらに、航空機の騒音が激化している嘉手納飛行場周辺の第一種区域（コソナー）の見直しなども想定されることから、市民に不利益が無いよう、関係機関へ要請しました。

一方、本県のリーディング産業である観光面においては、入域観光客が861万3,100人となり、4年連続で過去最高を更新しました。

また、クルーズ船の寄港増などにより、外国人観光客は初めて200万人を突破し、沖縄観光における経済波及効果は1兆円を超えるとの調査結果が公表されました。

県では2021年度の入域観光客数1,000万人達成を目標に掲げており、今後も入域観光客の増加が予想されることから、本市においても引き続き